

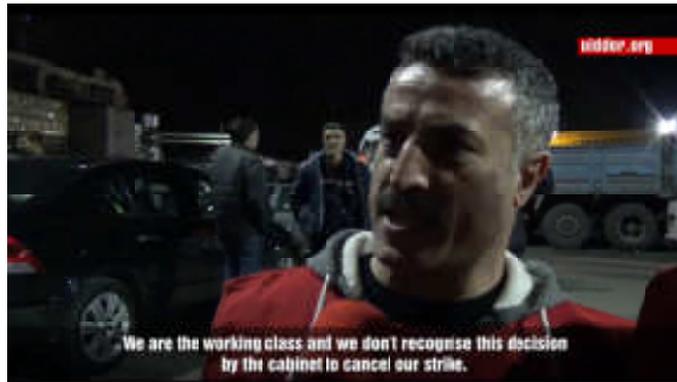
全学連 国際部通信

February 23, 2015 Vol.7



○「トルコ金属労組やMESSまでも含めてみなが、すべてのトルコ人が目にするだろう。われわれの闘いへの熱意は変わらず、この攻撃はわれわれをより鋭敏にするのだ。」

●「記憶に新しいと思うが、AKPは昨年6月20日に同様の口実を使ってガラス工場の労働者のストライキを禁止したのだ。これは金属労働者を脅しつけるためのものだ。」—「階級的団結ばんざい！」（コール）



▼しかしながら、この数千人の金属労働者の闘いはすでに膨大な労働者の熱意を呼び覚まし、労働者のあいだの権利主張意識を耕しつつある。だが、労働者のあいだに熱意と階級意識が育っていること、そしてさらに闘いが広がっていくことに恐れをなしたAKPとブルジョアジーは、ストライキを禁止することで労働者階級の闘いを抑えようとしているのだ。しかし奴らがなにをしようと、政府とMESSは決して労働者階級の運動の発展を止めることはできないだろう。そして、外注化や長時間労働、低賃金に失業、さらには資本の利益を最優先する資本主義体制そのものに対する労働者の闘いとめることはできないだろう。

—「一人だけの救済はありえない！ われわれ全員か、さもなくば0人かだ！」
(以上)

参照：UId-DER（国際労働者連帯協会）ウェブサイト

(http://en.uidder.org/video_stop_mess_presures_we_stand_by_the_sriking_metal_workers.htm)

*連載《香港的鬥争不還結束！—香港の闘いは終わっていない！》は、今回はお休みします。

Join us!

☆みんなで作業しよう！（翻訳など）

闘いの報告や声明、資料などの翻訳・発信等に、ぜひ力をかしてください！ 留学生のみなさんも参加してくれています！

☆学習会をはじめよう！

メンバーの問題意識や折々の闘争にあわせて行っていけたらと考えています。ex. 世界各国での学生の闘い、入管問題など

発行：全学連国際部

Tel：090-1845-7062（内田） / Mail：intl-solidarity@hotmail.co.jp

労働者・学生が団結して闘いにたちあがれば、世界をまるごと変革することができる！ 日々全世界でまきおこる闘いは、そのことをはっきりと示しています。この通信は、そうした闘いにスポットをあてるのみならず、実際の交流をも通して、日本での自分たち全学連の闘いの方向性を鮮明にし、大きな闘いをつくりあげるためのものです。留学生をはじめ、さまざまな大学の仲間とともにこの通信をつくってゆきたいと思います。投稿も随時募集しています！

韓国・民主労総の今春ゼネストと連帯し 5～6月戦争国会粉碎の闘いを！

「ゼネストの復権」を掲げて委員長に就任したハン・サンギョン委員長のもて、民主労総はこの春、パク・クネ政権と対決するゼネラルストライキを行うと宣言しました。『ゼネスト・ウェブマガジン』も発行され、最新の第3号には「現場はゼネストを要求する！」として公務員労組・代議員大会でのゼネスト決議が掲載され、今月25日にはゼネスト宣言式も予定されています。

安倍と対決する5～6月国会闘争を民主労総のゼネスト闘争と一体のものとしてかちとり、東アジアの労働者・学生の団結で戦争を阻止しましょう！

☆翻訳資料 トルコ金属労働者1・29スト報告ビデオから

「MESSの圧力をとめろ！ われわれはストにたつ金属労働者とともにある！」

トルコでは、政府や帝国主義、さらに「イスラム国」による攻撃をはね返し、労働者が力強い闘いを継続しています。中東で闘う労働者と連帯し、侵略戦争によって延命を狙う安倍政権を倒しましょう！



トルコでは金属産業に従事する労働者の賃金がきわめて低く、60%が400ドルに満たない最低賃金しか受け取っていません。平均賃金も貧困レベルを下回るなかで1月29日、15000人もの労働者が低賃金と労働条

件の改悪反対を掲げて巨大なストライキにたちあがりました。この闘いは「国家の安全保障」を口実とした政府の戦時型弾圧＝スト禁圧に屈せず継続されています。

ここでは、UİD-DER（「国際労働者連帯協会」）のウェブサイトに掲載されたトルコ金属労働者のストライキ報告動画の字幕部分をいくつかの場面とともに紹介します。（一部省略）



▼Birleşik Metal-İş（金属労働者統一労組）が団交相手として認められている工場で働く数千人の金属労働者が、MESS（金属製品製造業者協会）による不当な要求に反対するストライキに突入した。他の2労組＝Türk Metal（トルコ金属労組）とÇelik-İş（鉄鋼・金属・金属製品労組）は労働者の要求を無視し、前もってMESSとの3年間契約に合意していたのだ。22の工場、15000人の労働者が、Birleşik Metal-İşが組織したストライキにたつことを決断した。

▼1月29日、DiSK（トルコ革命的労働組合同盟）委員長と金属労働者統一労組委員長も参加するなか、ゲブゼにあるCengiz Makine工場で労働者たちが操業を停止した。さまざまな労組や民主的大衆組織が、このストライキ支援のためにかけつけた。これを突破口に、他の工場でのストライキが続いた。 — 「団結した労働者は資本を打ち倒す！」（コール）



【現場労働者たちの声】

- 「私たちが求めているのはまともな賃上げだ。子どもにまともな教育を受けさせ、よりよい生活をさせてやるためのね。それがすべてだ。」
- 「すべての人びとがその労働に値するだけのものを受けとるべきなのです。労働者以外に、いったい誰が雇用主のために働いてくれるというのですか？」
- 「かれら（政府）が雇用者を富ませようとするように、われわれは労働者の権利を守ろうとする。こんなに単純なことだ。」
- 「われわれが、トルコ金属労組と鉄鋼・金属・金属製品労組がサインした契約にサインしないことははっきりしている。これはわれわれの、つまりランク・アンド・

ファイル（現場労働者）の決定なんだ。われわれランク・アンド・ファイルはこの決定にもとづいて組合を動員し、ストライキを開始したんだ。」

- 「ここに集まった多くの人びとは、私たち労働者が心とこぶしをひとつに団結したときどんなことができるかを完璧に示しています。私たちは、この闘いがトルコ金属労組のもとにいるランク・アンド・ファイルをも揺り動かすことを願っています。かれらはきっと、何がどうなっているのかを理解するでしょう。」



▼工場で公式声明を発表した後、集まった人びとはゲブゼ広場へと向かった。他の工場でもストライキに入っていた金属労働者たちも広場に向けたデモを開始し、その後すぐに、数千人の金属労働者とさまざまな労組のメンバーが広場に結集した。

- 「職場をMESSの墓場に変えてやるぞ！」（コール）
- 金属労働者統一労組委員長のスピーチの後には、労働者の熱烈なスローガンが続いた。 — 「ストライキ権は抑圧されてはならない！」

【政府によるスト禁止攻撃】

▼資本に仕えるAKP（与党である公正発展党）は、MESSに助け舟を出した。1月30日、ストライキを禁止する決議を通過させたのだ。先月発行された官報によれば、内閣は“国家安全保障に支障をきたす”おそれがあるという理由で、60日間にわたるストライキを延期することを決定した。



- 「団結した労働者は絶対に負けない！」 「われわれは弾圧に屈しないぞ！ 飢え死にさせられてたまるか！ われわれはあきらめないぞ！」（コール）

【スト禁止令への金属労働者の反応】

- 「われわれは労働者階級であって、内閣によるスト禁止決定など認めない。われわれの労組が日曜日に行った決定によって、ストライキを継続する。」
- 「これが資本の力だ。今回は奴らが勝ったように見えるが、われわれは闘いを続ける。」